

2017年度役員・幹部職員定期学習会 全10回を終了

一生活協の役員を対象に、様々な社会問題とその背景を学び、各々の力量強化を目指して定期的に関開催—今年度は「SDGs」を学習の基本テーマとし、第10回今期まとめの討論会では「豊かな社会、生きやすい社会」とはどんなものなのか話し合い、協同組合としてその実現に向けて、1人1人が意識し努力し続けることの必要性を共有しました。

回	2017年度学習会のテーマ	講師
1	ワークショップの「きほんのき」 —ファシリテーションとKJ法—	宇都宮大学教育学部教授 陣内 雄次 氏
2	これからの社会と生協における福祉事業 ～地域共生の町づくり～	社会福祉法人 協同福祉会理事長 村城 正 氏
3	討論会 テーマ「共生型社会に向けて、私 たちはどうしていけばいいのか」	コーディネーター 会長理事 竹内 明子 氏
4	世界の人権問題と日本	東大大学院総合文化研究科准教授 キハラハント愛 氏
5	気候変動とエネルギー転換	一橋大学名誉教授 寺西 俊一 氏
6	地域からのエネルギー転換と自然資源経済	一橋大学名誉教授 寺西 俊一 氏
7	生鮮水産物の価値と消費拡大の課題	鹿児島大学水産学部教授 佐野 雅昭 氏
8	討論会 テーマ「人権・環境問題」	コーディネーター 会長理事 竹内 明子 氏
9	スマホの生産とレアメタル採掘にかかわる 環境破壊、人権侵害について	特定非営利活動法人アジア太平洋資料センター(PARC) 事務局長 田中 滋 氏
10	討論会 テーマ「豊かな社会、生きやすい 社会」とは？ その実現に向けて	コーディネーター 会長理事 竹内 明子 氏



便利に使用しているスマホ等の電子機器に不可欠なレアメタル。それらを調達するため、環境破壊や紛争、人権侵害という形で、他の国の日常を奪っている事実を伺い、衝撃を受けました。

とちぎ食の安全ネットワークの活動

世話人会を開催し、宇大名誉教授 宇田靖氏を講師に、「食品におけるナノテクノロジー」について学習会を行いました。また、県や市と協働で開催する今年度の食品安全フォーラムやセミナー等について協議しました。

今後の予定		主催/共催
7月12日(木)	とちぎ食品安全フォーラム 内容「HACCPについて」	栃木県・食の安全ネットワーク/宇都宮市
9月13日(木)	全体会学習会 内容「遺伝子組み換え・ゲノム編集について」	食の安全ネットワーク
10月11日(木)	食品安全フォーラム 内容「食品表示」について	栃木県・食の安全ネットワーク/宇都宮市

とちぎ消費者ネットワークの活動 <栃木県・宇都宮市と、消費者行政意見交換会を開催>

5月に「宇都宮市民まちづくり部生活安心課 消費生活センター」、6月に「栃木県消費者行政推進室」との意見交換会を実施。消費者行政の取り組みについてのご報告と、質疑応答、意見交換を行いました。

栃木県の消費者月間(5月)の取り組みに協力しました

宇都宮駅構内での街頭啓発活動に参加し、被害防止を呼び掛けました。また、「とちぎ消費生活フェスタ」では「弁護士 村千鶴子 氏による消費者問題講演会」等が行われ、会場で生協連の消費者問題の取り組みをパネル展示しました。



地域共生社会トップセミナー「いちごハートねっとと事業」特別講演会に参加<5月7日・栃木県主催>

「地域共生社会」の実現に向け、啓発等を目的に開催されました。福田知事が「地域共生社会は、福祉の領域だけでなく、分野、世代の異なるあらゆる人々を巻き込んだ地域づくりの取り組みともいえる」とご挨拶され、基調講演と、県内の自治体・関係団体によるパネルディスカッションが行われました。

■講演「地域共生社会の実現に向けて～地域で求められる取り組み～」日本福祉大学学長補佐 原田正樹 氏

■パネリスト 栃木市地域包括ケア推進課長 首長正博 氏/社会福祉法人ふれあいコープ理事長 竹内明子 氏  
NPO 法人福聚会代表 青田賢之 氏/いちごハートねっと事業会員 塩澤達俊 氏

その他、4月～6月の活動記録

機関運営	理事会 4月10日、5月22日、6月29日 / 常務理事会 5月8日 / 年度監査 4月26日
行政への参加	とちぎ地産地消県民運動実行委員会/とちぎ未来クラブ総会/とちぎの元気な森づくり県民会議総会/コウノトリ・トキが舞うふるさと おやま を目指す会総会/宇都宮食育フェア実行委員会/とちぎ子育てネットワーク(栃木市)
他団体への参加	栃木放送番組審議会/栃木県労働者福祉協議会幹事会/安心システムユニテッド総会/福祉センター理事会/NPO 法人とちぎ消費生活センター総会/NPO 法人とちぎ消費者リンク理事会
パブリックコメント	第5次エネルギー基本計画(案)に対するパブリックコメントを提出

# とちぎの生協

〒320-0024 栃木県宇都宮市栄町1-15 栃木県開発センタービル2階

TEL:028-624-6650 FAX:028-624-6652

http://tochigikenren-coop.com E-mail:info@tochigikenren-coop.com

VOL.26 夏号



ごあいさつ

栃木県生活協同組合連合会 会長理事 竹内明子

去る6月29日、第49回通常総会を終了致しました。また7月に開催される1単位生協を除き、単位生協の総代会も無事終了致しております。今総会、総代会で議決頂きましたことを、単位生協と共に、誠実に、そして着実に果たして行く所存です。

今日の社会は様々な問題、課題が山積し、成熟した社会には未だ至っておりません。地球温暖化をはじめとする環境問題は猶予がありませんし、世界的に暴力に偏重する傾向が目立ち、平和も脅かされています。暮らしにおいても、子ども、高齢者、障がい者といった弱い立場

になってしまう人たちが虐げられたり蔑ろにされる事件や日常が少なくありません。

私たちは協同組合として、平和な社会と誰一人取り残されない社会の実現を目指して歩んでいきたいと思っております。誰もが本当に暮らしやすい社会や地域を、弱者を作らない共生社会をどのように創って行くのかを常に考えて行かねばならないと思っております。

前年度同様に多くの皆様のご協力、ご指導を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

第49回通常総会のご報告と、2018年度 栃木県生活協同組合連合会の活動方針

—6月29日(金)総会を開催し、第1号議案から第5号議案まで、議案は全て承認されました—

- ◎1号議案 2017年度事業報告・決算報告・  
剰余金処分案承認の件及び監査報告
- ◎2号議案 2018年度事業計画及び予算承認の件
- ◎3号議案 規約設定承認の件
- ◎4号議案 役員選任の件
- ◎5号議案 役員(理事、監事)報酬決定の件

◎役員体制	
会長理事	竹内 明子 (栃木県生協連)
副会長理事	吉田 恵子 (県職員生協)
専務理事	中田 和良 (とちぎコープ)
常務理事	林 克則 (全労済)
常務理事	和久井 克孝 (よつ葉生協)
常務理事	赤堀 和彦 (栃木保健医療生協)
常務理事	江波戸 佳子 (栃木県生協連)
監事	田中 義博 (こらぼワーク)
監事	川端 浩義 (とちぎコープ)

引き続き、第6次中期計画(2016年～2018年)に基づき、県生協連としての役割を発揮できるよう、前年度の活動を踏襲してすすめます。また、第7次中期計画を策定します。

●会員の活動に対する支援と貢献

- ◇ 県内生協間のネットワークを推進します
- ◇ 組合員のくらしに一層役立つ生協運動の展開を目指し、理事長専務会議を実施します
- ◇ 地域生協でくらし部会を構成し、ともに食育や環境等、くらしに関する様々な活動を継続します
- ◇ 福祉問題等、地域における諸問題の調査や研究などをすすめ、生協としての活動を検討します
- ◇ 学習活動として、情勢に合わせて組合員・役員学習会を実施します
- ◇ ユニセフ募金、平和の取り組みを継続します

●社会的なネットワークづくり

- ◇ 食の安全ネットワークの活動を推進します
- ◇ 消費者ネットワークの活動を推進します。昨年度、県内市町に向けて実施した「消費者行政に関するアンケート」の結果をもとに、行政訪問活動を継続します
- ◇ 協同組合交流会を開催します
- ◇ 適格消費者団体認定を目指す「NPO法人とちぎ消費者リンク」の活動を支援します

●生協の社会的な役割発揮

- ◇ 被災者支援の取り組みや、様々な団体との防災・減災の取り組みを継続します
- ◇ 行政・各団体との協働活動と、行政の審議会、懇談会への参加をすすめます
- ◇ 県議会、報道機関等との懇談を実施します
- ◇ 協同組合の理念・原則を継承した取り組みを広げます



### よつ葉生活協同組合

よつ葉生協は、今を生きる私たちと次代を担う子どもたちのため、



(農薬、食品添加物、遺伝子組み換え、放射性物質など)心配される食の問題に対し、予防原則を基本に、安心できる食材のお届けを進めます。地産地消を柱に、国内自給率向上を図って行きましょう。



### とちぎコープ生活協同組合

2018 年度も、組合員さんにとって「いごちのよい生協」となることを目指します



### サステイナブルなひと、生活クラブ



Food=食、Energy=エネルギー、Care=福祉の自給を目指して、共同購入を通じ持続可能(サステイナブル)な暮らし方を提案していきます。

生活クラブ生活協同組合・栃木



産直と環境にこだわり、安全で安心な食材をお届けする生協です。



宇都宮事務所  
〒321-0901  
宇都宮市平出町 3748 - 14-101  
TEL 0080-800-8604

小山事務所  
〒323-0029  
小山市城北 3-24-10-101  
TEL 0120-086-581

本部 〒310-0022 茨城県水戸市梅香 2-1-39 TEL 029-227-2225

### 栃木県職員生活協同組合 栃木県職員等を組合員とする職域生協です

#### 主な事業

- ・県庁売店、地方売店（地方合同庁舎等8ヶ所）の運営
- ・県庁食堂、喫茶コーナーの運営
- ・サービスカウンターでの証紙類、クオカード等の販売

新作オリジナル商品 好評販売中！！



50年のロングセラー「県庁羊羹」に一口サイズ新登場。



カッティングの技術が冴える一筆箋は台紙の色で表情を変えられます。

### 創立30周年を迎えます



Utsunomiya Miyary since 2006

### 宇都宮市職員生活協同組合

宇都宮大学消費生活協同組合 <2018 年度の目標>

1. 入学準備から卒業までの学生の“学びと成長”を支援し、4年間総合的にサポートでき、学生が安心して勉学と生活を送れるような生協事業をすすめます。
2. 組合員、学生、教職員の期待と要望に依拠し、組織活動と事業活動が旺盛に展開され、明るく、元気に、生き生きと大学生活、キャンパスライフが送られるようにサポートし“宇都宮大学の魅力”発信に貢献します。
3. 「宇都宮大学で過ごして良かった。生協があって良かった」と思ってもらえる生協を目指し、生協への理解をひとりでも多く広げます。
4. 生協で働く職員が自らの使命を自覚し、自主的自発的に仕事に取り組み“やりがい”を感じられる生協を目指します。

<2018 年度の重点課題>

- 1) SF長岡の就労支援事業収入を増やし、事業基盤を強化します。
- 2) SF小山で制度改正に対応し、一般企業への就労移行及び定着への支援対応を強化します。
- 3) 本部のNPO等への経営支援事業をさらに拡大強化します。
- 4) 宇都宮事業所で、重点分野を明確にして事業高拡大を追求します。
- 5) 福祉用具貸与・販売事業の顧客件数を増やし、事業基盤を拡大強化します。
- 6) 小山事業所で人材の確保、育成を強めます。
- 7) のん美里ホームながおかの施設整備「みんなの家」の2019年4月開所を目指し、実現に全力を上げます。

くらぼワーク

企業組合とちぎ労働福祉事業団

健康をつくる、平和を作る、いのち輝く社会をつくる

### 栃木保健医療生活協同組合



健康をつくる=笑いヨガ、レインボー健康体操で脳も体もリフレッシュ  
平和をつくる=核兵器も戦争もない平和な社会実現へ憲法を生かす  
いのち輝く=みんなが主人公になれる居場所づくり、お茶のみサロン、無料塾、子ども食堂など

健康とくらしの相談随時受付中! ☎028-652-3714

足利大学生生活協同組合 <2018 年度の目標>

1. 組合員、学生、教職員の期待と要望に依拠し、組織活動と事業活動が旺盛に展開され、組合員・学生が明るく、元気に、生き生きと大学生活を送ることに貢献します。
2. 看護学部動向、本城キャンパスの動向、外国人留学生対応など大学の変化に対応していきます。看護学部も含めて広く深く大学の期待に寄り添い、生協の存在価値を高めていきます。
3. 大学理事との良好な関係を築き、教職員の中に生協の役割と価値を拡げ、次代を担う層を増やしていきます。その中で学生組織の活性化もめざします。
4. 生協で働く職員が自らの使命を自覚し、自主的自発的に仕事に取り組み“やりがい”を感じられる生協を目指します。

### 栃木県学校生協「2018年度の10の重要課題」

1. 学校生協係との良好な関係づくり
2. 組合員本位の機関運営
3. 加入促進・利用促進の活動強化
4. 組合員の声対応の強化（組合員の満足度向上）
5. 情報セキュリティ対策・危機管理対策の強化
6. 学校生協強化月間の取り組み強化
7. 保険事業の集中化とスケールメリットの追求
8. 経営改善計画の推進（組合員の送料一部負担を含む）
9. 事務局組織の活性化と人事制度の改革
10. 学校生協会館第二次修繕工事の検討



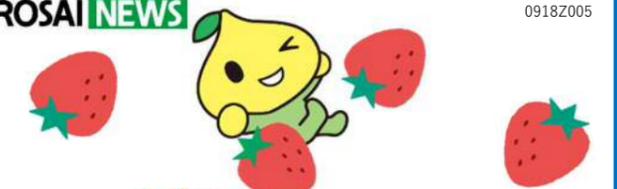
「私達は多くの人々と協同して一人一人が尊厳を持って安心して暮らせる地域福祉を目指します」の理念の下、介護保険事業、介護保険外の地域支援を行っています。

今年度は新たに栃木市に特別養護老人ホーム、小山市にグループホーム、24時間定期巡回・随時対応型訪問介護看護を開設。宇都宮市では地域食堂の運営を始めます。

(事業内容) デイサービス、訪問介護、居宅介護支援、小規模多機能型居宅介護、24時間定期巡回・随時対応型訪問介護看護、特別養護老人ホーム、グループホーム

### ZENROSAI NEWS

0918Z005



全労済のマイカー共済  
カーライフを応援する、頼れる補償

保障のことなら全労済 028-635-6031

組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいで組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

### ブリヂストン那須グループ生活協同組合

～ 組合員の皆様に喜ばれる生協を目指します ～

#### 2018 年度の取り組み

- ・各売店とも季節に合わせた商品を取り揃え品数を増やす
- ・5月、10月のバーゲン開催（スポーツ用品・リビング用品等）
- ・給与差引可能な特約店の利用促進PR
- ・生産本部主催の工場祭、ゴルフコンペ、スポーツ行事等の参加、協力

以上の事業計画案が達成できるよう積極的に活動して参ります

### 中央労働金庫

働く仲間がつくった金融機関です

〈ろうきん〉は、生活協同組合や労働組合などの仲間がお互いを助け合うためにつくった協同組織の金融機関です。仲間の暮らしを支え、快適な社会づくりに寄与することをめざしています。



お問い合わせは (中央ろうきん) 栃木県本部 TEL028-622-4296